

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第4週(令和8年1月19日～令和8年1月25日)

＜発生動向＞  
第4週の定点あたりのインフルエンザの報告数は、14.09と減少していますが、11週連続で警報レベルです。外出するときは人込みを避け、マスクの着用を含めた咳エチケットやこまめな手洗い、定期的な換気など感染対策を続けましょう。  
また、結核の報告が6件ありました。70代以上の高齢者の報告が多いのですが、ここ数年の傾向では、外国生まれの若年者の報告も増加しています。施設や学校などで集団発生した報告例もあります。高齢者の方は症状が出にくい場合がありますので、全身状態の注意深い観察が重要です。重症化すると周りの人にうつしてしまう可能性もあり、場合によっては死に至ることもある病気です。2週間以上、咳や痰が続く場合は医療機関を受診しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	13	23	51	208	507
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	3	7	10	38
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	4	8	22	79
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	1	3	11	32
梅毒	3	12	16	44	141	426
百日咳	3	11	14	46	221	599

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	7	0.30	0.43	76	0.62	5,833	1.54
インフルエンザ	324	14.09	21.00	2,263	18.55	43,027	11.33
急性呼吸器感染症	1,576	68.52	68.96	7,556	61.93	185,435	48.91
RSウイルス感染症	23	1.77	0.31	72	1.03	1,430	0.62
咽頭結膜熱	15	1.15	0.85	51	0.73	504	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	2.54	2.23	413	5.90	5,115	2.22
感染性胃腸炎	183	14.08	9.85	680	9.71	15,412	6.68
水痘	4	0.31	0.15	29	0.41	715	0.31
手足口病	0	0.00	0.00	9	0.13	100	0.04
伝染性紅斑	5	0.38	0.38	8	0.11	606	0.26
突発性発しん	5	0.38	0.38	25	0.36	554	0.24
ヘルパンギーナ	2	0.15	0.00	7	0.10	45	0.02
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	1	0.01	54	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.17	3	0.12	11	0.02
流行性角結膜炎	4	0.67	0.00	15	0.58	303	0.44
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	3	1.50	0.00	5	0.33	245	0.51
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	17	0.04

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。  
※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。  
○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。